

# 北薩の輝き

良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

## 北薩教育事務所便り

平成29年度 第1号 4月28日発行

所在地：薩摩川内市隈之城町228-1

☎：0996-20-8772

FAX：0996-25-3095

### 愛情のある言葉かけと「良質な教育環境」づくり

4月は出会いの季節といわれます。ピカピカの1年生が各学校に入学し、県内各地から本地区の学校に力量のある先生方が266人赴任されました。どの学校も順調にスタートを切り、活気に溢れていることと思います。今年度は「良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育」をキャッチフレーズに、児童生徒数16,483人、教職員数1,608人とともに本地区の教育を進めて参ります。

ところで、私は、年度当初のこの時期になると、尊敬する先輩から教わった「島 秋人」氏の短歌集の一節が思い浮かんできます。その一節は、「教え子からこのように思われる教師になりたい」と強く思わせる文章だからです。

島氏は、家庭的に恵まれず、少年院に入るなど荒れた生活を送ります。昭和34年のある雨の夜、飢えに耐えかねて農家に押し入り、2千円を奪い、家人を殺害してしまいます。当然、死刑囚となり、約5年間の獄中生活を送ることになります。その苦しい獄中で彼を支えたのは、中学生の時の「絵は下手だけど構図はクラスで一番よい」と美術の先生に、たった一度だけ褒められたことだったのです。彼は、獄中からその恩師に手紙を書き、恩師の返事に添えられた短歌がきっかけで、彼の秘められた「うた」の才能の扉が開かれたのです。こうして歌人「島 秋人」が誕生します。しかし、島氏は、昭和42年に処刑されます。次の文章は、島氏がファン（高校教諭として教師になる方）に宛てた手紙の一部です。

教師は、全ての生徒を愛さなくてはなりません。一人だけを温かくしても、一人だけを冷たくしてもいけないのです。目立たない生徒の中にも、平等に愛される権利があります。むしろ、目立った成績の秀でた生徒よりも、目立たなくて覚えていなかったという生徒の中に、いつまでも教えられたことの優しさを忘れないでいる生徒が多いと思います。忘れられていた人間の心の中には、一つの褒められたということが一生、繰り返されて思い出され、懐かしいもの、楽しいものとして残っているのです。

教育の成果が出るのには時間を要します。教育とは、遠い将来に期待し、根気強く取り組まなければならない営みです。学校における「良質な教育環境」づくりの第一歩は、教職員が、愛情溢れる言葉を子供たちに向け、自己肯定感を育み、学校生活の良い思い出を一つでも多く残していくことではないでしょうか。

北薩地区に勤務し、子供たちの教育を担う教職員が、今年度もベクトルを同じ方向に向け結束し、より一層、良質な教育環境づくりに邁進して下さるようお願いいたします。

北薩教育事務所 所長 木之下 浩一

### 事務所機構図

所長 ○木之下 浩一

○のついた職員は今年度の  
転入職員です。

#### 総務課

課長 栗山 和己

総務係長 ○上林山 礼美

主査(給与)	和田 賢
主査(給与)	久保恵利子
主事(庶務)	吉富 翔

#### 管理課

課長 三上 修

主査(管理)	○山田 剛
主査(管理)	岡元 芳樹

#### 指導課

課長 ○堀口 俊雄

主任指導主事(学校教育)	原口 雅也
指導主事(社会教育)	○岩屋 芳文
指導主事(学校教育)	池田 浩
指導主事(学校教育)	○政岡 健作
指導主事(社会教育)	上村 浩二
指導主事(識技力向上)	田丸 武彦
指導主事(保健体育)	○茂岡 泰弘
社会教育指導員	宮内 宗久
筆	肥後 文枝
団 体 書 記	今井 ゆき
団 体 書 記	鈴木 美穂

【総務課】	0996-20-8771
【管理課】	0996-20-8773
【指導課】	0996-20-8772
FAX	0996-25-3095

学校間連携  
コーディネーター ○平屋 浩司

# 新年度のスタートに当たって

新年度がスタートしました。北薩教育事務所では、「良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育」をキャッチフレーズに、本地区教育の更なる充実を図っていききたいと思います。本年度、特に留意してほしいこと等について、まとめてみましたので、御確認ください。

## 北薩の授業づくり3ポイントの実践を！

北薩地区の児童生徒の学力向上のために、本年度も「北薩の授業づくり3ポイント」の実践をお願いします。

- 1 目標の明確化 → (子供の言葉で)
- 2 子供が主役となる学び → (思考の活性化)
- 3 ラスト10分の充実 → (学びの達成感)

詳しくは、平成29年度版をご覧ください。  
〔北薩教育事務所HPに掲載〕

## いじめ・不登校の未然防止のために

- **いじめの問題への対応**  
「1件でも多く発見し、それらを解消する。」という基本方針を全ての教職員が共通理解・共通実践していきましょう。
  - ・「いじめのサイン発見シート」等の活用
  - ・学校の組織的な対応のための情報共有
- **不登校への対応**  
「新規の不登校を出さない魅力ある学校」づくりに取り組んでいきましょう。
  - ・小中連携による欠席状況等の情報共有
  - ・人間関係づくりの取組の推進

## たくましい“北薩っ子”に！

『体力は人間の活動の源であり、健康の維持のほか意欲や気力といった精神面の充実に大きく関わっており、「生きる力」の重要な要素である。』  
(中央教育審議会答申から抜粋)

学校体育を中心に体力向上に取り組むとともに、家庭や地域との連携の充実を図りながら、「運動好きな子供の育成」に努めましょう。

## 生涯を通じて自らの健康を守る学校保健に!!

- 自己管理能力を育てるために、自分の健康状態を意識させ、朝の健康観察を充実させましょう。
- 健康診断の結果を踏まえ、保護者との情報共有や医療機関への受診勧奨を行い、健康課題の早期改善に努めましょう。
- 感染症、食物アレルギーなどの対応マニュアルを全職員で共通理解し、安心・安全な校内体制を確立しましょう。

## 特別支援教育の一層の充実に向けて

今年度は、特別な支援が必要な児童生徒に対する就学前から卒業までの一貫した支援の充実を図るために「特別支援教育学校間連携支援事業」を推進します。

### ○ 学校間連携コーディネーターの配置

- ・北薩地区にも1人配置されます。

### ○ 学校間連携コーディネーターによる計画訪問

- ・地区内の学校を計画的に訪問します。

### ○ 移行支援シートの活用促進の周知

- ・活用方法や有用性について周知します。

※ 学校間連携コーディネーターの積極的な活用をお願いします。

## 地域全体で子供を守り育てる環境づくり

- 多様な体験活動やふれあい活動の充実
    - 地域や学校の特色を生かす
    - 「青少年育成の日」「家庭の日」の実践
  - 地域が支援する「地域の中の学校づくり」の推進
    - 「かごしま学校応援団」の活用
  - 家庭教育を支援するための学習機会及び家庭教育に関する情報の提供
    - P T A活動の活性化と家庭教育学級の充実
- ★「北薩っ子～5つの実践～」の取組もお願いします。

## 交通違反・交通事故等を防ぐための5つのお願い！

新年度を迎え、一月が過ぎました。新しい環境に慣れるため、心も体も疲れが溜まってきている時期です。

毎日の通勤はもちろん、プライベートでも車の運転をする場合は、十分に気を付けましょう！

- 1 率先して交通ルールを守り、ゆとりをもった安全運転に努めてください。
- 2 交通事故については、心身の苦痛、経済的負担、職務への影響があることに加え公務員としての信用失墜につながることを認識してください。
- 3 飲酒運転は、絶対にしてはならないことであり、懲戒免職の対象となることを理解してください。
- 4 前日の飲酒でも量が過ぎれば、翌朝、飲酒運転になる恐れがあることを理解してください。
- 5 飲酒運転を容認することも、責任を問われるということ認識してください。

## 編集後記

今回は、指導主事がそれぞれの担当業務の中で特に重点的に学校や地域で取り組んでほしいことを中心に紙面を構成しました。御一読いただき、各学校における「良質な教育環境」づくりに活かしていただけましたら幸いです。